

第 25 回議会報告会 報告書

地 域 名	高柳地域		
年 月 日	令和 5 年 10 月 24 日 (火)	会 場 名	高柳ふれあい倶楽部
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 10 分
参 加 数	男性 10 人	女性 0 人	合計 10 人
班 長	浄慶 耕造	司 会 者	浄慶 耕造
報 告 者	全員	書 記	田路 之雄
班 員 名	浄慶 耕造、深澤 巧、瀬原 敬樹、田路 之雄		
	市 民	対 応	
報告 に 対 する 質 疑	<p>① 農業の担い手育成では、親方農家の下で 7 人が研修を受け 3 人が新規認定就農者となっているが、どのくらいの年齢なのか。農業以外の仕事を持っていても受けられる制度なのか。</p> <p>② 規模を拡大することが補助金の条件になっており、大型農家では手が回らないのだろうが、植えっ放しであぜの草刈りもしないところがあり、近隣が困っている。補助金を出すのであれば対処してほしい。</p> <p>③ ホームページ偏重は高齢者には向かない。広報紙は必要だ。ただ、いろんな団体が出すので無駄も多いと思う。どう考えるか。</p> <p>④ 議員の定数・報酬のパブリックコメントを募集しているが、議員がしっかり活動をすれば現状でいい。</p> <p>⑤ 議員定数が多いか少ないかより、いかに市民意見を吸い上げるかだと思う。それができないなら 5 人でもいい。今日の報告会に参加者が少ないのは残念。意見を届けるのに問題だ。</p>	<p>① 制度で対象になるのは 45 歳未満である。認定農業者になることが条件で、専門に近いと思う。</p> <p>② ご意見としてお聞きした。当局にも確認する。</p> <p>③ ホームページを家のテレビで見られるようになるのと、大分改善される。配り物を集約できるのはホームページしかないので、研究が必要だと思う。</p> <p>④ ご意見を議員定数・報酬等調査特別委員会に伝える。市民の意見を聞き、自分の考えを述べるのが議員として大切であると考ええる。</p> <p>⑤ ご意見としてお聞きした。</p>	

	市 民	対 応
意見交換会での質疑	<p>① この夏の台風被害を市に報告したが、被害箇所をすぐ修復してくれるのか。放っておくと被害が拡大する。</p> <p>② 殿屋敷地区の整備事業も令和6年度でほぼ終わる。困っているのはトイレがないことだ。隣接の放棄田に設置する話が持ち上がっているがどうか。</p> <p>③ 市は第3次まちづくり計画を作ったが、その中に欠けているものが1つある。人口が減少して集落機能を維持できなくなりつつある区をどうするのか。自治協議会ができた時、合区については自ら考えるべきで市からは言えないということでタブー視されてきた。議会はどのようなアイデアを持つか。</p> <p>④ 令和4年度は出生数が100人を切って98人になった。10年間で3分の2になった。 人口減少対策をどうすべきと考えるのか。議員一人ひとりの意見を聞きたい。</p>	<p>① 受け付けた危機管理室が各部に分類して、どの災害補助制度で対応するか精査している。進捗状況は各課に問合せしてもらいたい。</p> <p>② 広い殿屋敷跡にトイレがないのは、以前から気になっていた。ぜひ要望をしてもらいたい。</p> <p>③ 養父市には人口50人未満の区が26ある。これをどう維持するか。自分たちの時代で廃村にしたいくないという思いもある。人口の少数地域には行政も入って膝を交えて地元の人と協議する必要がある。議員も入っていく。</p> <p>④-① 人口減少は予想がついていたのに手をつけていないという不作為の部分はあるかと思うが、議会が何をしていたかという点も追求されるべきである。議会も99%当局の提案を丸のみしてきた。少子化については、大人が子どもに対して未来の夢を描く努力を怠ってきた。未来を示す行政にしなければならない。</p> <p>④-② 出生数の減少を軽減するためには婚活施策として、男女の出会いを促す仲人役も必要ではないか。子どもの遊び場など環境整備も進めなければならない。</p>

	市 民	対 応
意見交換会での質疑	<p>⑤ 私の同級生は200人、5クラスあった。去年生まれた子は市内全体で98人だ。学校の先生は教員不足の中で、仕事が増え長時間労働になっている。その中で小学校9校、中学校4校が適正か。教育のあり方検討委員会で議論がされた。議会も教育委員会、当局に対して議論を深めてもらいたい。</p> <p>⑥ 区、大字の統合については無理をせず、区民に統合するための適正な人口を示すべきではないか。そうすれば区民もその気になる。</p>	<p>④-③ 旧町の中で大屋周辺の人口減少が最も激しい。その中でどう生きていくか。1つは農業の多面的機能支払制度の組織の広域化によって人口減少の激しい地域を補い、農業を真摯に受け止めることである。もう1つは、市内には決して働くところがないわけではない。逆に市内からの人材確保が最大の足かせになっている。今は地元で頑張っている企業を支援し、働く場所を確保することが大切だ。</p> <p>④-④ 養父市は女性の就業率が県下平均より1割高い。世帯収入が低くパートで働いている。市内企業の質を上げ、賃金を上げ、福利厚生をしっかりとやる企業を育てることが大切だ。また独身女性がこの地に住んで、それが普通であるような地域になっているか。若い女性が住みやすい地域にしなければならない。</p> <p>⑤ 学校統合については地域の意見もあるが、ドライに考えて基準を作り、教育内容に重点を置いて割り切っていくべきと考える。</p> <p>⑥ ご意見としてお聞きした。</p>

市 民		対 応
意見交換会での質疑	<p>⑦ 地域の教育力が弱くなっている。どうすればいいか考えている。子どもが異年齢と触れ合うことは大事だ。その機会として学童保育がある。ここで地域とのつながりをつくれなにかと思う。</p> <p>⑧ 公営企業審議会で水道料金の見直しが必要との答申が出されたが、議会の対応はどうか。</p>	<p>⑦ 学童は充実すべきで、特色ある学童保育を創ればよいと考える。</p> <p>⑧ 答申では、「現状のままでは毎年 6,500 万円の赤字が出る。来年 4 月からの料金改定が必要」ということだった。市長は行政報告で、今の経済状況では値上げは難しく見送る方針である、と述べた。したがって、議会では言及をしていない。</p>
備考 なし		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和 5 年 11 月 15 日

報告者 3 班 班長 浄慶 耕造